



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和2年5月18日

第1号

校長 矢野 晴一

学校教育目標：「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

## 学校再開に向けて！ ～ 一人一人が最大限の努力を ～

「学校は、いつからはじまるの！」

そんな声が聞こえてくるようなもどかしい日々が続いています。

そんな中、5月12日（火）から臨時の登校日を設定して、少しずつですが子どもたちとともに活動をはじめました。右の写真のように、一クラスずつ体育館で間隔をあけて1時間程度の学級開きを行いました。

子どもたちは、少し緊張ぎみの様子でしたが、自己紹介をしたり、担任の先生の話を聴いたりして、学級での時間を過ごすことができていました。

毎日校門で出迎えましたが、子どもたちが「おはようございます」と元気なあいさつをしてくれると、私たちの心もエネルギーが満ちてくるような気持ちになり、絶対に日常を取り戻そうという強い気持ちをもつことができました。



## ※ 学校再開に向けて大切なのは

### 日々の小さな努力を継続する意識と習慣

5月14日（木）に福岡県の緊急事態宣言が解除されました。これまで休業していたお店や施設も営業が始まっていきます。学校も臨時の登校日から少しずつ授業開始へと日常の活動に向けてシフトしていきます。そんな中、私たちは、どんなことに気をつけていったらいいのでしょうか。

学校再開に向けて、職員も「どんな点に気をつけたらいいのか」考えて知恵を出し合っています。

朝の会は？ 授業中は？ 休み時間は？ 昼休みは？ 部活動は？ 合唱は？・・・。

いろいろな場面や気になる点を出し合っているうちに、ある結論に達しました。

**「これは、先生たちが声を大にして叫ぶだけではだめだということ。子どもたち自身の意識と協力が必要であること、そして学校と家庭が一体となって連携して取り組まなければならない」ということです。**

学校という環境は、必ず人が集まる場所です。「三密を避ける」「手洗い」「消毒」等叫ばれていますが、100%の完璧な予防対策を講じることはとても困難であると考えています。

予防のためにやるべきことは、私たち一人ひとりの「できることを徹底して行う」という意識と、小さなことですが、「検温」や「手洗い」を継続していくという習慣に委ねられていると思います。

### 1 手洗いやうがいをごまめに行う

### 2 生活のリズムを整える（睡眠 食事 等）

### 3 心を整える

これまでも健全な生活のために言われ続けてきた「あたりまえ」のことのようですが、今は予防の観点から、自身の行動や生活のリズムを整えることが求められていると思います。

また、「不安」や「恐れ」に振りまわされないようにすること、「不安をあおる情報」に振りまわされないこと、「差別的な言動」に同調しないこと等、自らの心を整えることが大事だと思っています。



# ★日常をとり戻していくための努力点

具体的には、子どもたちといっしょに確認していきますが、これから先、日常をとり戻していくためにたくさんある取組の中で「これだけは絶対に！」というご家庭の協力を必要とする大切なことについてお知らせいたします。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## その1 毎日の「健康観察カード」(右の資料)

毎朝、登校前に必ず検温と体調確認をお願いします。

※発熱やせき、のどの痛み、だるさ等がある場合は、カード

にチェックしていただき、自宅での休養をお願いします。

→ 欠席の際は、学校にご連絡ください。

※お子様がカードを忘れた場合、体温の記載がない場合、

保護者のサインがない場合は、学校で検温等を行い、発熱

やせき、のどの痛み、だるさ等があると判断した場合は、

すぐに早退し自宅で休養することになります。

→ 早退するときは、学校から連絡いたします。



## その2 手洗いの励行・マスクの着用

学校という環境は、共用のものであふれています。机、イス、授業で使うさまざまな道具類、ボール、本・・・。



さまざまな学習活動が始まる前と終わった後に必ず手を洗うよう

にします。したがって、自分専用のハンカチやタオルを必ず準備していただくことが必要になります。

## 小さいけれど大きな感動 その2 ～ 地域からの応援 ～

臨時休校が続く中、地域のみなさんからたくさんの声をかけていただいています。

「子どもたちの元気な声がせんと私たちも元気が出らんですよ」

「子どもたちがはやく戻ってくるといいですね」

「先生たちも大変ぼってんか頑張ってくださいね」

励ましの言葉をいただくたびに、みなさんに支えていただいていることに感謝の気持ちを抱くとともに、この大原中学校は「本当に地域のみなさんから愛されている学校なのだ」ということを実感しています。

そんな中、本校PTAの方からたくさんのマスクと消毒液を寄附していただきました。また、本校の卒業生の方からもたくさんのマスクを寄附していただきました。

活動再開を見据えたときに、学校として本当に必要なものを支援していただいたことに心から感謝申し上げます。

